

高校生と公園の使い方を考える

夏休みに入った一日を、商業高校生と、新しくできる公園でこんなことしたい
を考えるワークショップをしました。

☆きっかけは

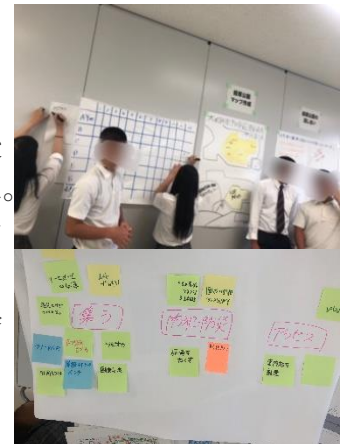
沖縄県では「ゆいレール」が浦添市まで延伸し、浦添市内に3つ駅ができます(10月1日開業)。その中の一つの駅前で整備中の公園。この公園を市民協働でパークマネジメントをしていこうと、市民の方々とワークショップをしています。しかし、公園は大人だけのものではありません。ということで、周辺にある商業高校さんが協力してくださることになりました。

☆ワークショップの前にも

市民のみなさんとのワークショップには、この高校の先生も参加して下さって
いて、高校の中で有志を募ってワークショップをして下さっていました。(積極的
な先生お2人のお陰で、この日のワークショップが成り立っています。) ワールド
カフェで進めたり、マインドマップを作成してくれたりしました。

☆ワークショップでは

はじめに、校内ワークショップの成果をまとめて発表してく
れました。発表では、公園のコンセプトだけではなく、20年後
の高校もこうなっていてほしいということを語ってくれました。
その後、公園のコンセプトを実現するために、できることを
ワークショップで出し合い、利活用カレンダーに記入しました。
この成果は、その夜開催される市民ワークショップにも組み込
まれるようにしました。



☆素敵な提案

このワークショップの中で、とても素敵な提案がありました。この商業高校では
「販売実習」をしているそうです。実際に仕入れ、利益をプラスして販売するとい
うものです。市内の何か所かで行っているそうです。これを公園でもやってみよう！
という提案です。

さらに、小学生の販売実習体験を高校生がサポートするというものまで出ました。
楽しそうに取り組んでいる姿が浮かびます。

この他にも、公園の管理業務を地元の人たちと楽しんでイベントにしよう！
という提案をしてくれました。めんどろなことをイベントにしてみようというのは、
公園を管理という概念の枠にとらわれない、素敵なアイデアですね。

☆この夜、開催された大人のワークショップでは、この提案が大人の刺激になったようです。
高校生の意図を伝えると、大人は高校生を見直してくれ、自分達のしていることから発想し
てくれましたので、より身近な公園になったような気がします。